

NARCISSE-VIRGILE DIAZ DE LA PEÑA

ナルシス・ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペニャ (1807~1876)



作品名 フォンテンヌブローの森の小川

種類 キャンバスに油彩

サイズ 45.7×63.5cm 仏15号

※Claude AUBRY 証明書付き

略 歴

- 1807 ボルドーに生まれる。孤児となり印刷工の見習い、磁器絵付け職人となる。ジュール・デュプレらに油彩画を学ぶ。
- 1831 サロンに出品するも落選。生活のためにさまざまな絵画を描く（肖像、花、風俗画）
- 1834 サロンに入選
- 1835 フォンテーヌブローの森に通う。
ルソーより自然に対する考え方、樹木の表現方法などの助言をもらう
- 1836 幻想性豊かなディアズの絵に写実性が加わり
森の中の神秘的な風景も描くようになった
- 1837 フォンテーヌブローの森の風景画をサロンに出品。
バビルゾンに滞在し、バビルゾン派の画家たちと親交を結ぶ
その後、ルノワール、モネ、シスレーらとバビルゾン派の画家としては最初に会う。
- 1844 ある批評家からの評価を得て、急速に人気に。経済的にも成功する。
サロンで三等賞を受賞
- 1846 人物画の他に風景画をサロンに出品し好評を博し二等賞を受賞
- 1846 この頃から風景画家として認められるようになる
- 1850 レジオンドヌール勲章を受賞
異国情緒と自然美の調和でディアズの人気は揺るぎないものとなった
- 1859 サロンの出品をやめるが彼の絵は高騰を続けた
以降 彼はエトルタに別荘を買い、花と美術品に囲まれて幸福な晩年を過ごした
- 1876 マントンにて死去

バルビゾン七星の一人と知られる